

(講座) 環境薬科学

(研究室) 衛生化学

(氏名) 中山守雄

(職名) 教授

【研究テーマ】

1. 栄養素としてのセレンウム
2. ヒトの健康に関わる金属元素
3. 金属と医療
4. 環境及び生体微量物質のための機能性材料の開発

【論文発表】

A 欧文

(A-a) 原著論文

1. M. Ono, H. Kawashima, A. Nonaka, T. Kawai, M. Haratake, H. Mori, M.-P. Kung, H. F. Kung, H. Saji and M. Nakayama: Novel benzofuran derivatives for PET imaging of β -amyloid plaques in Alzheimer's disease brains. *J. Med. Chem.* **49**, 2725-2730 (2006) (IF 4.926)
2. M. Haratake, K. Yasumoto, M. Ono, M. Akashi and M. Nakayama: Synthesis of hydrophilic macroporous chelating polymers and their versatility in the preconcentration of metals in seawater samples. *Anal. Chim. Acta*, **561**, 183-190 (2006) (IF 2.760)
3. M. Haratake, S. Hidaka, M. Ono and M. Nakayama: An ionic polymer bead-supported lipid system. *J. Colloid Interface Sci.* **299**, 924-927 (2006) (IF 2.023)

【学会発表】

A 国際学会

(A-b) 一般講演

1. M. Ono, Y. Maya, M. Haratake and M. Nakayama: Synthesis and characterization of styrylchromone derivatives as amyloid imaging agents, Society of Nuclear Medicine 53rd Annual Meeting, Jun. 3-8, 2006 (San Diego, CA)
2. M. Haratake, K. Fujimoto, R. Hirakawa, M. Ono and M. Nakayama: Selenium export from red blood cells in an oxygen-linked fashion, 8th International Symposium on Selenium in Biology and Medicine, Jul. 25-30, 2006 (Madison, WI)
3. M. Ono, A. Nonaka, K. Okada, M. Haratake, M. Nakayama: Synthesis and evaluation of ^{99m}Tc labeled benzofuran derivatives for in vivo imaging of amyloid plaques in the brain, 9th Congress of World Federation of Nuclear Medicine and Biology, Oct. 22-27, 2006 (Seoul, Korea)

B 国内学会

(B-b) 一般講演

1. 松元 真哉, 原武 衛, 小野 正博, 中山 守雄: セレン含有プルラン誘導体の合成とそ

の GPx 様活性の評価, 日本薬学会第 126 年会, 2006 年 3 月(仙台)

2. 宮内 みほ子, 原武 衛, 小野 正博, 中山 守雄: ペニシラミンセレノトリスルフィドと血漿成分との反応性の検討, 日本薬学会第 126 年会, 2006 年 3 月(仙台)
3. 畠中 瑛介, 原武 衛, 小野 正博, 明石 真言, 中山 守雄: ストロンチウム-90 の体内取込みを軽減させるための内服用吸着剤の開発, 日本薬学会第 126 年会, 2006 年 3 月(仙台)
4. 真矢 啓史, 小野 正博, 原武 衛, 中山 守雄: アルツハイマー病の診断を目的とする新規アミロイドイメージングプローブの開発 - スチリルクロモン誘導体の開発とその評価 -, 日本薬学会第 126 年会, 2006 年 3 月(仙台)
5. 小野 正博, 吉田 直子, 森 啓, 原武 衛, 中山 守雄: 脳内アミロイドβ 蛋白のインビボ画像化を目的とした放射性ヨウ素標識フラボン誘導体の開発, 日本薬学会第 126 年会, 2006 年 3 月(仙台)
6. 河嶋 秀和, 小野 正博, 河合 知喜, 森 啓, Hank F. Kung, 北野 治廣, 中山 守雄, 佐治 英郎: ¹¹C 標識ベンゾフラン誘導体の PET 用老人斑イメージングプローブとしての有効性に関する検討, 第 126 年会日本薬学会, 2006 年 3 月 (仙台)
7. 小野 正博, 吉田 直子, 原武 衛, 河嶋 秀和, 佐治 英郎, 森 啓, 中山 守雄: 脳内老人斑アミロイドイメージングのための分子プローブの開発, 日本分子イメージング学会設立総会, 2006 年 5 月(京都)
8. 小野 正博, 野中 明美, 岡田 敬子, 原武 衛, 中山 守雄: 老人斑アミロイドイメージングのための ^{99m}Tc 標識ベンゾフラン誘導体の合成と評価, 第 16 回金属の関与する生体関連反応シンポジウム, 2006 年 6 月(東京)
9. 原武 衛, 日高 秀子, 小野 正博, 中山 守雄: イオン交換樹脂に裏打ちされた脂質二分子膜の作成とその応用, 第 19 回バイオメディカル分析科学シンポジウム, 2006 年 8 月 (福岡)
10. 松元 真哉, 原武 衛, 小野 正博, 中山 守雄: 水溶性多糖に導入したセレノシスチン誘導体の抗酸化活性, フォーラム 2006: 衛生薬学・環境トキシコロジー, 2006 年 10 月(東京)
11. 松元 真哉, 原武 衛, 小野 正博, 中山 守雄: セレン含有プルラン誘導体の微粒子形成挙動と抗酸化活性, 第 23 回日本薬学会九州支部大会, 2006 年 12 月(熊本)

【特許】

1. 中山 守雄, 原武 衛, 小野 正博, 森 啓, アミロイド関連疾患診断用組成物, 特願 2006-174970、平成 18 年 6 月
2. 中山 守雄, 原武 衛, 小野 正博, 森 啓, アミロイド関連疾患診断用組成物, 特願 2006-174933、平成 18 年 6 月
3. 中山 守雄, 原武 衛, 小野 正博, 森 啓, アミロイド関連疾患診断用組成物, 特願 2006-520584、平成 18 年 6 月
4. 中山 守雄, 原武 衛, 小野 正博, 森 啓, アミロイド関連疾患診断用組成物, 特願 2006-144024、平成 18 年 5 月
5. 中山守雄, 原武 衛, 五十嵐 隆, G e 吸着剤, 特願 2007-053504 平成 19 年 3 月

【研究費取得状況】

1. サイクロトロンを必要としないPET用分子イメージング薬剤製造システムの構築、科学研究費・基盤研究(B)(1)
2. 異常型プリオン蛋白質結合性化合物の探索とその分子イメージングへの応用、科学研究費・萌芽研究
3. セレン供給源としての煮干かたくちいわしの利用、長崎先端技術開発協議会研究開発助成金

【学会役員等】

1. 日本分析化学会九州支部幹事

【過去の研究業績総計】

原著論文 (欧文)	68 編	(邦文)	6 編
総説 (欧文)	2 編	(邦文)	5 編
著書 (欧文)	10 編	(邦文)	5 編
紀要 (欧文)	0 編	(邦文)	3 編